

財政状況等一覧表（平成19年度）

福岡県古賀市

Table with 4 columns: 標準税収入額等A, 普通交付税額B, 臨時財政対策債発行可能額C, 標準財政規模A+B+C. Values: 7,711, 2,727, 496, 10,934.

1. 一般会計等の財政状況

Table with 7 columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 一般会計, 住宅新築資金等貸付事業特別会計, 都市計画公園用地取得事業特別会計, 一般会計等計.

2. 公営企業会計等の財政状況

Table with 9 columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Rows include 水道事業会計, 公共下水道事業特別会計, 農業集落排水事業特別会計, 国民健康保険特別会計, 老人保健特別会計, 介護保険特別会計(保険事業勘定), 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定), 公営企業会計等計.

- (注)1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」「資金剰余額/不足額」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」「実質収支」を表示している。
3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

Table with 9 columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 玄界環境組合, 古賀高等学校組合, 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合, 福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計), 糟屋郡自治会館組合, 北筑衛生施設組合, 福岡県市町村災害共済基金組合(一般会計), 粕屋北部消防組合, 福岡県自治振興組合, 福岡都市圏競艇等事業組合(事業会計), 福岡都市圏広域行政事業組合(一般会計), 福岡県後期高齢者医療広域連合, 福岡地区水道企業団, 一部事務組合等計.

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

Table with 10 columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 古賀市土地開発公社, 地方公社・第三セクター等計.

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5. 充当可能基金の状況

Table with 4 columns: 充当可能基金名, 平成18年度A, 平成19年度B, 差引B-A. Rows include 財政調整基金, 減債基金, その他充当可能基金, 充当可能基金計.

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産を含まない。

6. 財政指標の状況

Table with 11 columns: 財政指標名, 平成18年度A, 平成19年度B, 差引B-A, 早期健全化基準, 財政再生基準, 資金不足比率(公営企業会計名), 平成18年度A, 平成19年度B, 差引B-A. Rows include 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率, 財政力指数, 経常収支比率.

- (注)1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。